

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
17.08.24(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

2017年度対市教委交渉結果の概略

組合「教職員の負担軽減には幅広い意見を」

越教組は、七月六日に市教委と交渉を持ちました。今年の重点項目は「過重労働解消・業務の見直し」を中心に、それに伴う数々の課題が交渉の中心となりました。今年は回答文の中で新たに「カリキュラム・マネジメント検討委員会」が示され、教職員の負担軽減との関係を問う質疑に多くの時間を割きました。

カリキュラム・マネジメント検討委員会

(組合)
組合は常々学校の負担軽減委員会の設置を要求してきたが、今回市教委から越谷市には負担軽減委員会が存在すると報告を受けた。「カリキュラム・マネジメント検討委員会」がこれにあたるかと理解してよいか。

(市教委)
平成三二年度の学習指導要領完全実施に伴い、学校運営が難しくなるとの判断から設置した。学校経営全般を話し合う組織で、当然負担軽減策は避けて通れない。すでに一回実施して活発な発言があった。今年度はあと二回予定している。

組合

なぜ勤務時間把握をするのか。それは教職員の時間外勤務を減らすためと教員が子どもたちと向き合える時間を増やすため(文科省)だ。負担軽減は、労使で話しあう問題だ。

(組合)
土曜授業の実施について校長会で意見集約したとの情報があるが、本当か。土曜授業となると労基法に違反する。

(組合)
現場だけでは負担は減らない。勤務時間内での教材研究や作品評価・採点は諦めている職員の雰囲気がある。時間外の全般的な取り組みについても、校長から「できる人は協力を」と、なし崩しにされている。

(市教委)
「カリキュラム・マネジメント検討委員会」のメンバーは校長(教育委員会管理職)と校長会会長・副会長だが、現場の声は当然聞いていく。教頭、教務、教員と現場の声を聞く範囲を、広げていく可能性はある。

授業日増加の計画なし

(組合)
土曜授業の実施について校長会で意見集約したとの情報があるが、本当か。土曜授業となると労基法に違反する。

(組合)
エアコンの導入もあり、現場ではこれらについての

(市教委)
部活はやりがいがある一方負担も大きい。文科省・スポーツ庁からも休養日を適切に設けるよう言われている。県からの部活動の目安はどうなっているのか。越谷市の実態はどうか。

(市教委)
一週間の平均活動日は五・八日。運動部の平均。二・十八年度の学校調査より。外部指導者は四九人。増員については関係機関の動向で。

(市教委)
県からは平成二十二年に、活動時間は平日は二時間以内、土日どちらかは休

市教委 過度な部活動は見直したい

(組合)
養育するように聞いていた。ただ、夏季・冬季の活動時間の違い、大会前と後の活動時間の違いがあり、平均すると大まかに守られていると思っている。

(組合)
現場にいくと、活動日がとても五・八日とは思えない。どのくらい守られているか調査してほしい。

(市教委)
県の調査によると週一日も休養日の無い部活をしている学校が一四八校あるというのだ。

(市教委)
過度な活動にならないよう適正に対応したい。

市教委 勝利至上主義は弊害がでる

(組合)
小学校での体育的対外行事のエスカレートが止まらない。こんな状態ではエスカレートしない方が難しい。一会場開催になつて、体育主任も重圧がかかり大変だ。

(市教委)
対外行事・活動は、児童自ら運動をしようとする実践力をはぐくむ機会としても意義がある。ただ勝利至上主義に偏った指導や行き過ぎた活動は弊害が出る。運動を生涯にわたって楽しめることがよいのであって、過度な負担はかからないようにという姿勢は変わらない。

その他の回答

出席簿を欠席簿に
(組合)
負担軽減のため出席簿の形式を改善してほしい。三郷や藤や所沢ではパソコンを利用してしている。

(市教委)
検討の余地がある。

児童虐待防止の標語
(組合)
教育センターを通じて児童虐待防止(文科省・厚生省)の標語の募集があった。小学生に考えさせるのは無理だし、教育的でない場合もあり、担当者も悩んでいる。この募集に強制性があるのか。

休憩室
(組合)
自分の学校は、校務員の休憩室はあるが、職員休憩室はない。校長によると校務員と同じ部屋にはできないとのこと。

(市教委)
調査したうえで、報告する。

内容は市教委が確認したものです